様式第2号(第5条関係)

都留市SDGs宣言書

持続可能なまちづくりに向けて、SDGsに取り組むことを宣言します。

令和 7 年 8 月 8 日

(フリガナ)	カイチホイクエン
企業・団体名	開地保育園
(フリガナ)	エンチョウ　　カメザワ　マサタカ
代表者役職・氏名	(役職) 園長　　(氏名) 亀澤　正隆

＜当社(団体)の取組み＞
開地保育園では誰一人として取り残されない社会の実現のために、未来を創る子どもたちが、SDGsの様々な目標が目標ではなく、将来当たり前の行動として認識できるように日々取り組んでいます。子どもたちにとっては多様な価値観をもって大人になって欲しい。そんな思いで日々身体を通した様々な体験活動を行っています。

No.	SDGs達成に向けた目標と取組み	SDGsゴール
1	【目標】 自然の恵みを循環させ資源を無駄にしない 【取組内容】 ・子どもたちも過ごす裏山の整備の中で、伐採した木を子どもたちと薪などにし、たき火、調理、薪ストーブなどに利用。出た灰を畑の土に撒き、肥料にする。 ・雨水をタンクに溜め、花や野菜の水やりに使う。 ・裏山などから集めた落ち葉を使って堆肥を作り、土作りに使う。 ・米作りをしている地域の方から籾殻をいただき、燻炭にして畑の土作りに使う。 ・生活の中で余った食べ物をコンポストに入れ、堆肥を作る。畑の土作りに使う。 ⇒子どもたちと野菜や花を育て、調理したり、食べたり、花を遊びに使ったりする。花はドライフラワーにもして卒園式に使う予定。 ⇒子どもたちと共に野菜や植物を育て、共に調理をすることで、季節を感じながら新鮮で旬な味覚を子どもたちが学びながら味わうことができる。	
2	【目標】 年齢の関係ないコミュニティづくりと健康づくり 【取組内容】 ・隣接する高齢者向けデイサービス(同法人)と毎日一緒にラジオ体操をしたり、一緒に地域の方のお宅を訪問し活動したり。日常的に利用者(高齢者)と子どもたちが過ごしている。 ⇒毎日一緒に過ごし、関わっていく中で、子どもたちもデイサービス利用者のことがわかってきて、名前を呼んだり、”これをする時はこのおじいちゃんを頼ろう！”と利用者それぞれの得意なことや好きなことも分かっている様子が見られている。 ・祝日もデイサービス主催でラジオ体操を行っており、園児・保護者・職員・地域の方が自由に参加している。 ⇒日常的に色々な人と関わっていく中で、顔や名前、どんな方なのかが分かる関係を作っている。	
3	【目標】 廃材のアップサイクルを行う ・職員や園児の家庭で出た空き箱やトレー、カップなど廃材を集め、子どもたちの製作遊びに使用している。 ・ペットボトルキャップを子どもと大人で一緒に加工し、アクセサリーやキーホルダー、コースターなどを作り、行事の中で子どもたちが出店し来場者と直接やり取りをして作品を提供した。	

4	【目標】 古着をリメイクし資源を再利用する 【取組内容】 ・職員や保護者から古着を集め、行事の際の衣装を新たに購入するのではなく、古着をリメイクしてテーマに合った衣装にし着用する。	
5	【目標】 ”使い捨て”を減らす 【取組内容】 ・園の行事の際、参加される方に食具や食器など、使い捨てのものではなく、洗って繰り返し使えるものを持参していただく。 ・割り箸を使うときには、使って捨てるのではなく、洗って乾かし、焚きつけ材として再利用している。	
6	【目標】 暖房・冷房に頼り過ぎず気持ち良く過ごす工夫をする 【取組内容】 ・保育の中で子どもたちと”どんな場所が涼しいのか？””どんな場所が暖かいのか？””何をしたら涼しく過ごせるのか？”などを考えながら生活し、自分で快適に過ごせる場所を見つける力を育んでいる。 ・夏は子どもたちと一緒に日陰を作ったり見つけたり、裏山に遊び行って涼しく過ごしたり、川に遊びに行ったり全身を濡らして水遊びを楽しんだりと、子どもも大人も気持ちよく過ごせるよう工夫している。	
7	【目標】 アートで”つながる” 【取組内容】 ・アーティストの五十嵐岳さんにお越しいただき、子どもも大人も隣接するデイサービスの高齢者も一緒にワークショップを行った。みんなで作成した絵を、岳さんが仕上げてくださり、4枚の絵が”つながる”ような作品になった。園や地域など色々な場所に展示し、4枚の絵を見に行くことで新たな出会いが生まれるなど”つながる”きっかけになったら良いと思う。	
8	【目標】 災害に備える 【取組内容】 ・毎月1度子どもたちと一緒に避難訓練を行っている。 ・子どもたちの毎日の持ち物の中に非常食や防災グッズを常備してもらうようにしている。いざという時の備えをするとともに、ご家庭にも災害への備えに対する意識をもっていただくきっかけにしてもらいたい。 ・防災フェスを開催し、薪で火おこしをしたり、お米をビニール袋で茹で、炊いてみたりした。子どもたちが遊び感覚で作れるようなランタン作りや、ペットボトルを使って水をろ過する体験コーナー等を設け、親子で災害時にどんな工夫ができるのかを体験する場を設けた。	